

学会記事 Newsletter

I 学会賞選考委員会

本年度の学会賞選考委員会は、昭和62年3月20日開催された。慎重審議の結果、本年度の受賞は該当者なしと決定した。
(庶務幹事 松井一郎)

II 日本人類遺伝学会評議員改選

日本人類遺伝学会評議員は改選により、昭和62~64年の2年間、下記の109名の会員に委嘱された。
(昭和62年6月4日)

昭和62~64年評議員

浅香 昭雄	東大・医・保健学科	梶井 正	山口大・医・小児科
阿部 達生	京都府立大・衛生	角谷 哲司	角谷産婦人科病院・院長
有馬 正高	国立精神神経センター	鎌田 七男	広島大・原爆放医研・内科
阿波 章夫	放射線影響研・遺伝	亀山 義郎	名大・環境医学研
井内 岩夫	川崎医大・生化	菊池 康基	武田薬品・中央研
池内 達郎	東京医歯大・難治研・細胞遺伝	北川 照男	日大・医・小児科
池田 高良	長崎大・医・病理	木田益四郎	帝京大・医・小児科
池永 満生	京大・放射線生物研究センター	鬼頭 昭三	広島大・医・内科
石原 隆昭	放射線医学総合研	木村 資生	国立遺伝研・集団遺伝
一色 玄	大阪市大・医・小児	木本 浩	岡山大・医・小児科
井上 英二	東大・名誉教授	黒木 良和	神奈川こども医療センター
今泉 洋子	厚生省人口問題研	黒田 泰弘	徳島大・医・小児科
今村 孝	国立遺伝研・人類遺伝	小西 俊造	山口大・名誉教授
大浦 敏明	大阪更生療育センター	近藤 郁子	筑波大・人類遺伝
大倉 興司	東京医歯大・難治研・人類遺伝	近藤 恭司	八木記念実験動物研
大堂 庄三	宮崎医大・小児科	近藤喜代太郎	北大・医・公衆衛生
大野 文俊	高知医大・内科	堺 俊明	大阪医大・医・神経精神
大浜 紘三	国立呉病院・産婦人科	榊 佳之	九大・遺伝情報実験施設
岡嶋 道夫	東京医歯大・医・法医	坂本 博三	兵庫医大・遺伝
岡村 敏弘	秋田県厚生連由利総合病院	佐々木正夫	京大・放射線生物研究センター
岡本 直正	宮崎医大・学長	佐々木元賢	長崎大・歯・口腔外科
小笠原信明	愛知県コロニー・発達障害研・遺伝	佐々木本道	北大・理・動物染色体研
萩田 善一	富山医薬大・和漢薬研	笹月 健彦	九大・生体防御医学研
尾本 恵市	東大・理・生物	佐藤 幸男	広島大・原爆放医研・遺伝
折居 忠夫	岐阜大・医・小児科	塩田 浩平	京大・先天異常解析センター
		島田 和典	熊本大・医・生化

清水 信義	慶大・医・分子生物	福山 幸夫	東京女医大・医・小児科
白神 暉	徳島大・医療技術短大	藤木 典生	福井医大・内科
十字 猛夫	東大・医・輸血	藤田 弘子	大阪市大・生活科学・児童保健
末原 則幸	大阪府立母子保健総合医療センター	古川 研	群馬大・医・法医
鈴木 雅洲	スズキ病院・院長	古庄 敏行	杏林大・保健・臨床遺伝
鈴森 薫	名古屋市大・医・産婦人科	古山 順一	兵庫医大・遺伝
祖父尼俊雄	国立衛生試験所・変異原性部	本庶 佑	京大・医・医化学
孫田 信一	愛知コロニー・発達障害研・遺伝	松井 一郎	国立小児病院・小児医療研・小児生態
高井新一郎	阪大・医・外科	松田 一郎	熊本大・医・小児科
竹下 研三	鳥取大・医・脳幹研	松田 博	愛媛大・医・小児科
武部 啓	京大・医・放射線基礎医学	松永 英	国立遺伝研・所長
多田 啓也	東北大・医・小児科	松本 秀雄	大阪医大・法医
千代 豪昭	大阪府豊中保健所	美甘 和哉	旭川医大・生物
月野 隆一	和歌山医大・小児科	三木 敏行	帝京大・医・法医
津田 和矩	宮崎医大・内科	三沢 信一	京都府立大・内科
寺脇 保	鹿児島大・医・小児科	宮尾 益英	徳島大・名誉教授
外村 晶	東京医歯大・難治研・細胞遺伝	宮地 隆興	山口大・医・臨床検査
中井 博史	東北大・医・小児科	三輪 史朗	勲 沖中記念成人病研
中込 弥男	国立小児病院・小児医療研・先天異常	森本 兼囊	東大・医・公衆衛生
中島 章	順天堂大・医・眼科	八神 喜昭	名古屋市大・医・産婦人科
中嶋 八良	東京医歯大・医・法医	安河内幸雄	東京医歯大・難治研・人類遺伝
新川 詔夫	長崎大・原爆後障害医療研	安田 徳一	放射線医学総合研
野本 直記	京都児童福祉センター	安田 峯生	広島大・医・解剖
浜口 秀夫	筑波大・人類遺伝	柳瀬 敏幸	福岡通信病院・院長
林 正	山形大・医・小児科	山口 雅也	佐賀医大・内科
日暮 真	山梨医大・保健学	山田 清美	国立病院医療センター
平山 清武	琉球大・医・小児科	山野 利尚	高知医大・内科
服巻 保幸	九大・遺伝情報実験施設	山村 研一	熊本大・遺伝医学研
		吉田 迪弘	北大・理・動物染色体研
		和田 義郎	名古屋市大・医・小児科

(庶務幹事 松井一郎)

III 理事半数改選

会則による理事半数改選選挙の結果，新理事として下記の3名が選出された。

笹月 健彦（九州大学生体防御医学研究所遺伝学部門）

佐々木本道（北海道大学理学部動物染色体研究施設）

中込 弥男（国立小児病院小児医療研究センター遺伝研究部門）

(庶務幹事 松井一郎)

IV 学会賞選考委員一部改選

会則による学会賞選考委員一部改選選挙の結果、新委員として下記の2名が選ばれた。

三輪 史朗 (財 沖中記念成人病研究所)

柳瀬 敏幸 (福岡通信病院)

(庶務幹事 松井一郎)

V 昭和62年度日本人類遺伝学会評議員選挙の異例な経過について

昭和62年度日本人類遺伝学会評議員選挙は会則に則りまた学会の慣習に従って、昭和62年4月4日に会長から国内普通会員あて選挙の告知がなされた。選挙に必要な国内普通会員地区別名簿の作成は、昭和60年12月5日に学会事務センターとの間で契約が行われた会員業務のなかに含まれており(人遺誌30:317, 1985)、学会事務センターが選挙用会員名簿のマスターファイルを作成した。

選挙進行中に普通会員のうち在学証明提出者の投票書類が送付されていないことが判明し学会事務センターに確認したところ、在学証明書を提出した32名の普通会員が選挙用地区別名簿から欠落していた。この欠落を事前に発見できなかったのは、オリジナルの4月1日現在の会員名簿の作成が後回しになったため、この不完全な選挙用名簿に基づいた選挙は、①地区別評議員定数に誤りを生じる可能性があり、②除かれた普通会員が選挙権、被選挙権を行使できない、という結果を生じ、やむなく会長の判断で出直し選挙を行うこととし、昭和62年5月7日改めて告知を発送した。なお、4月4日の告知に基づいた投票はすべて無効とし票は破棄された。

名簿作成において32名に及ぶ氏名欠落を生じた点の責任について、日本学会事務センター(近藤二郎理事長)より本学会長に対し深甚の陳謝の意が表明された。やり直し選挙については本学会の指示に従い、できうる限りの処置を取ること、今後二度とこのような過ちを起こさぬよう職員指導に務めることが申し添えられた。

(庶務幹事 松井一郎)

VI 人類遺伝学用語委員会

1) 本委員会の事務と用語のコンピューター処理を担当していた谷村雅子会員が留学のため渡米したので、後任として今泉洋子会員に委員(事務担当)、森友子氏にコンピューター処理を委嘱した。この交替に伴い使用コンピューター機種を変更した。

2) 日本遺伝学会では文部省科学研究費特定研究の補助を受けて遺伝学用語標準化を昭和61年度から3年間の計画で行うことになり、その代表者である国立遺伝研の黒田行昭教授から本委員会委員長宛に協力要請があった。本委員会では使用頻度の高い人類遺伝学用語を提供することとし、今泉委員をこの特定研究の分担者、委員長を含む9名の委員を協力者とするを了承した。現在まで動物学会、植物学会から提出された人類遺伝学関係の用語についての本委員会委員長の意見を提出した。

3) 本委員会の作業は、全委員による用語の追加、訂正、削除、使用頻度の水準決定が進行中で、Hの項目に関しては全員からの回答があり、コンピューター入力が進行中である。

4) 1986年の本学会の第31回大会中の11月5日に本委員会を開催し、今後の作業予定を協議した。現在進行中の追加、訂正等が終了次第、全委員による細部の調整を行うことになった。

(会長 井上英二)

VII 双生児研究会の創立について

わが国の双生児研究に携わるひとびとの間で双生児研究会の創立が論議され、第1回設立準備会（昭和61年11月29日、出席者17名）を経て、第2回設立準備会（世話役：浅香昭雄、今泉洋子、松井一郎）ならびに創立総会（議長：岡嶋道夫）が昭和62年1月17日（土）午後2時から4時まで東京大学山上会館において開催された。44名の出席者をえて双生児研究会が創立された。

創立総会において、規約が審議された後、会長に井上英二が推薦された。幹事に浅香昭雄、天羽幸子、今泉洋子、岡嶋道夫、佐藤幸男、中田稔、野中浩一、早川和生、松井一郎、森本兼囊、吉田啓治の11名が選出された。会の運営は、11名の幹事を中心に行うことになり、事務局は東京大学医学部保健学科内におくことが決定された。

総会に引き続き井上英二会長による記念講演会「日本におけるふたご研究の歴史」が行われた。講演終了後、山上会館談話室ロビーで懇親会が開かれた。

なお、入会手続きその他の詳細は事務局（812-2111 ext. 3584）まで問い合わせられたい。（文中敬称略）

（評議員 浅香昭雄）

VIII 第16回国際遺伝学会のお知らせ

The 16th International Congress of Genetics, sponsored by the International Genetics Federation, the Genetics Society of Canada, the National Research Council of Canada, The Royal Society of Canada, and the Biological Council of Canada, will be held at the Metropolitan Toronto Convention Centre, Toronto, Ontario, Canada, August 20-27, 1988.

The principle themes of the Congress will be:

- Genes and chromosomes
- Genomes and organisms
- Populations and evolution
- Genetics and Society

The deadline for the receipt of abstracts is February 26, 1988.

Persons interested in attending the Congress, presenting papers, or displaying products are requested to contact:

L. Forget,
Conference Services Office
National Research Council of Canada
Ottawa, Ontario, Canada, K1A 0R6
Telephone: (613) 993-9009 Telex: 053-3145
Fax: (613) 993-0603

（編集委員長 浜口秀夫）